

第6章 地域計画

第1節 湯沢地域

1 湯沢地域の特徴

東部から南部にかけては栗駒国定公園を背景とする山々が連なり、また、北部から西部にかけては横手盆地の南端にあたる地域で、平坦な水田地帯が広がっています。

このため、その地形や風土にあった地場産業や特産品が息づいています。

湯沢地域の中心部は、江戸時代に佐竹氏が秋田に入部して以後、湯沢雄勝地域を統治する佐竹南家の城下町として発展してきました。国道13号や国道398号が中心市街地で交差するとともに、奥羽本線が中心市街地を縦貫しており、主要交通網の結節点として重要な位置にあり、現在に至るまで湯沢雄勝地域の政治、経済、文化の中心地となっています。

長い歴史と伝統に培われてきた湯沢地域を、将来的な市の安定に結びつけるためには、湯沢雄勝地域の中心地としての都市機能基盤の整備、充実がより一層求められます。

2 湯沢地域の現況と課題

湯沢地域は、これまで稲作や果樹生産などを主とした周辺地区と交通、文化、医療、行政施設などの都市機能を有した中心地区とがそれぞれその役割を担ってきました。

平成17年の合併により、市の規模が面的、質的に広がったため、湯沢地域は、特にその都市機能をより一層広域的なものとして、政治、経済、文化の中心地としての責務を担わなければなりません。

また、湯沢、稲川、雄勝、皆瀬の各地域はもちろんのこと、近隣の町村など湯沢雄勝地域の中心として産業経済活動を安定的な発展へと推し進めなければなりません。

湯沢雄勝地域全体の産業経済活動の安定的な発展を図るためには、地域内での経済交流はもとより、さらに広い規模での人的、物的な交流を促進させることが必要です。

ICT社会が急速に進展している現代においても、人が直接見て、触れて、味わうというような人間の五感によって、必要な情報を得るといふことの重要性は失われることはありません。

このため、湯沢地域が市の中心として来街者や物流の利便性を向上させるとともに、各地域間や県内外との相互交流を促進させ、それぞれの地域の産業の活性化に結び付けていく必要があります。



3 湯沢地域のまちづくりイメージ

湯沢地域を本市の中心地域として位置づけるとともに、湯沢、稲川、雄勝、皆瀬地域及び湯沢雄勝地域の核として、新たな政治、経済、文化の中心となるよう都市機能基盤の整備、充実を図ります。

また、このことにより湯沢、稲川、雄勝、皆瀬の各地域及び湯沢雄勝地域と全国との相互の人的、物的交流を促進できるように取り組みます。

さらには、湯沢地域の醸造産業と精密機器・機械部品産業の流通促進、稲川地域の製麺・漆器など地場産業振興、雄勝地域、皆瀬地域の観光産業の振興、また、すべての地域の農林業などの基盤産業を活性化させるため、これらの振興に共通して不可欠な要素である交通網の整備や交通拠点機能の整備、充実とその周辺地域の整備、アクセスの向上を図ります。



4 湯沢地域のまちづくり方針

(1) 都市機能基盤の整備・拡充

① 住環境の整備と定住化の促進

- 市の顔となる湯沢駅周辺を湯沢の地域資源を活用した美しく、魅力あるまちに再生するための湯沢駅周辺の整備に努めます。
- 湯沢城址公園や勇ヶ岡公園など市民の健康づくりや憩いの場として利用できる自然環境と調和した計画的な公園整備を図ります。
- 住宅密集地における緊急車両の通行確保等、防災上の観点にも配慮した住環境整備を図ります。
- 公営住宅の改善整備などを進めます。

② 新市庁舎の建設

- 新たな湯沢市の行政の核として、また、市民の憩いの場、市民のシンボルとして新市庁舎の建設に向けた計画策定を進めます。

③ 交通体系の整備

- 駅西線や元清水線などの都市計画道路の整備をはじめ、地域幹線道路及び生活道路を計画的に整備します。

④ 上下水道の整備

- 安全で良質な水の供給と安定した水資源の確保を図るため、成瀬ダムの整備促進に努めます。
- 水道未普及地区の解消のため、簡易水道の整備を進めるとともに、老朽化した水道施設の改修を進めます。
- 公共下水道をはじめ、農業集落排水や合併処理浄化槽方式など、地域の実情にあった方法によって、汚水処理施設の整備を進めます。

(2) 保健・医療・福祉の充実

① 保健・医療の充実と健康づくり

- 市民の健康を維持・増進するための総合的な保健活動の拠点として、保健センター施設の整備に努めます。

② 障害者福祉の充実

- 障害者が創作的活動又は生産的活動により、社会との交流を促進するための障害者福祉の拠点施設として、障害者地域活動支援センターの整備に努めます。



③子育て支援の充実

- 子育てを支援するため、子育て支援の拠点となるファミリーサポートセンターの機能や相談体制などの整備・充実に努めます。

(3) 産業の振興

①中心商店街、商業の活性化

- 湯沢雄勝地域の商業集積地として湯沢地区の中心商店街の活性化と集客力の向上に資する取り組みを支援します。また、商業者への設備、運転資金など金融面での支援を、商工会議所など関係機関と連携しながら進めます。

②工業の振興

- 企業誘致の促進や酒造業、木工業などの地場産業の育成を図り、雇用の創出と安定化を図ることによって定住化を進めます。

③農林業の振興

- 基幹産業である農業と食を守ることは、産業の活性化と地域経済の発展という観点からも極めて重要です。このため、農用地の確保、特色のある収益性の高い農林業の構築に向けた取り組みを進めます。

(4) 教育・文化の充実

①生涯学習の推進

- 湯沢生涯学習センターをはじめ、コミュニティーセンター、勤労青少年ホームなどの既存の施設を活用した生涯学習拠点機能の整備に努めます。

②学校教育の充実

- 将来の児童生徒数の推移、学区の地理的状況等を総合的に勘案して、学校規模の適正化を図るため、小中学校の統廃合や通学区の弾力化を進めていきます。

②文化の継承・創造

- 郷土の歴史を紹介する資料館として活用するため、雄勝郡会議事堂記念館の改修整備を進めます。
- 老朽化が著しい湯沢文化会館の補修整備を進めます。

5 湯沢地域の重点施策事業

重点施策事業名	事業内容	
(1) 都市機能基盤の整備・拡充	①	住宅密集地域の住環境整備を進めます。
	②	公営住宅の改善と整備に努めます。
	③	湯沢城址公園、勇ヶ岡公園などの整備を進めます。
	④	湯沢駅周辺の整備を進めます。
	⑤	新市庁舎建設計画を策定します。
	⑥	幹線道路、生活道路などの整備を進めます。
	⑦	地域の実情にあった污水处理施設の整備を進めます。
(2) 保健・医療・福祉の充実	①	保健センター施設の整備に努めます。
	②	障害者地域活動センターの整備に努めます。
	③	子育て支援ファミリーサポートセンターの整備・充実に努めます。
(3) 産業の振興	①	中心商店街や商業者への支援を進めます。
	②	企業誘致の促進や地場産業の育成を進めます。
	③	特色ある収益性の高い農林業の構築に努めます。
(4) 教育・文化の充実	①	生涯学習拠点機能の整備に努めます。
	②	小中学校の統廃合や通学区の弾力化、統合高校への専攻科の設置を進めます。
	③	文化財の改修整備と文化施設の整備改修を進めます。





第2節 稲川地域

1 稲川地域の特性

稲作を中心とした農業を基幹産業としていますが、稲庭地区には日本三銘うどんの一つとして知られる稲庭うどん、三梨地区には銘柄牛として知られる三梨牛のほか、有機米やオクラ、アスパラガスなどの農産物、川連地区には国の伝統的工芸品に指定されている川連漆器のほか、秋田仏壇、川連こけしなどの伝統工芸品、駒形地区には駒形リンゴや大倉ブドウなどの果樹生産があり、それぞれの地区を特徴づける産業が根付いています。

こうした特色ある産業により形作られている稲川地域は、豊かな自然とここに住む人たちが代々築いてきた歴史と文化を背景に、それぞれの分野の担い手が創意工夫によって築き上げ、守り伝えてきた「技」の実践により発展してきました。そして、これらの「技」の原点は、携わる者の真心を込めた「手づくり」に求められます。これは農業や伝統産業のみならず、人材育成などさまざまな分野で共通しているもので、稲川地域が持つ潜在的な力であるとともに、新たな発展への可能性をも有しています。

2 稲川地域の現況と課題

稲川地域の産業は、近年「手づくりの技」というセールスポイントが広く評価され発展してきた反面、担い手の多くは地域住民、または家族経営の企業であり、ほとんどが零細な経営基盤となっています。そのため、景気の影響を受けやすく、地域産業の低迷や伸び悩み、雇用悪化の懸念など、先行きの不透明感が地域の活気を失わせる要因となっています。

近年の急激な経済情勢や社会構造の変化などに対応しながら地域の活気を取り戻すためには、地域産業の担い手である地域住民が連携・協力しながら、地域経済の活性化についてともに考え、力を結集して行動していく必要があります。

3 稲川地域のまちづくりイメージ

稲川地域自治連絡協議会を土台として、地域住民、行政、業界団体が一体となり、自らの創意工夫に基づいて行動することにより、住民自治機能を強化するとともに、地域経済の基幹を担う地場産業の振興と産地の活性化を図ります。

このことにより、新たな就業の場や雇用の創出が図られ、さらに新たな市場開拓に結びつくといった相乗効果により、地域経済の再生、さらには定住の促進につなげていきます。

これにより、地域住民にも訪れる人にとっても魅力ある地域づくりを進めます。

4 稲川地域のまちづくり方針

(1) 定住促進のための地域産業の振興

地場製品の付加価値を高め、他との差別化を行うことにより、消費の拡大を図り、地域産業の振興につなげます。

① 研究開発機能の強化及び技術の継承・開発

地域産業の後継者を育成するほか、新たな技術の開発や継承のための研究開発機能を強化します。

② P R 機能の充実

地場産品が生み出される地域の環境や伝統的な技術、製造・栽培工程等のバックグラウンドを消費者に紹介することにより、その物の持つ信頼感、安心感をICTの活用によるほか、体験交流などによってPRします。

(2) 自然の恵みとやすらぎを実感できる住環境の形成

住民の誇りになり、暮らしを楽しめるような環境づくりは、訪れる人にとっても魅力が感じられ、地場産品への信頼感を高めることにつながります。

① 自然環境の保全

世代を超えて連綿と形成されてきた緑豊かな農村景観と自然環境の保全を図ります。

② 快適な住環境の形成

公共下水道と浄化槽の効率的な整備、維持管理により、地域内の水辺環境を保全するとともに、景観と安全性に配慮した生活道路の整備を行い、自然と調和したゆとりある住環境の形成を図ります。

③ 街並み景観整備

伝統的な地域産業が盛んな稲川地域は、生産現場も街並みに溶け込んでいることから、職住近接の個性ある街並みの形成を図ります。





5 稲川地域の重点施策事業

重点施策事業名	事業内容
(1) 地場産業振興拠点施設整備事業	① 後継者育成のための取り組みや、研究開発を行います。
	② 地域産業振興のための検討を行います。
	③ 地場産品製作体験や歴史的資料に触れられる施設を整備します。
	④ 業界団体による物産展示・販売機能を常設します。
	⑤ 情報通信技術を活用し、地場産品に関する情報の提供を行います。
(2) 稲庭うどんの里エリア整備事業	① 稲庭地区に稲庭うどんに関する歴史、文化を紹介する説明板や発祥地・名水・名所の案内板、歴史的資料及び製品の展示機能を整備します。
	② 稲庭うどんや郷土料理の提供機能や稲庭うどん作業工程体験機能を整備します。
(3) 住民自治活動拠点施設整備事業	① 最新鋭選果システムや流通システムの導入により、高品質な果樹生産と販売を行います。
	② 地域の生産活動拠点として、米、野菜、果実の加工を行います。
	③ 情報通信技術を活用し、地場産品に関する情報の提供を行います。
(4) 産業振興関連道路整備事業	① 地場産産を観光資源として活用する地域経済活動を支援するため、市道下平城線、大館上宿線、中川原線、早坂稲庭線の4路線を整備します。
(5) 総合物産館施設整備事業	① 総合物産館の整備を進めます。



第3節 雄勝地域

1 雄勝地域の特徴

雄勝地域は、秋田県の最南端にあたり、宮城、山形の両県に接しています。また、横手盆地の南端にあることから奥羽山脈と出羽丘陵に囲まれ、地域面積の約8割を森林が占めています。

雄勝地域は横堀、院内、秋ノ宮、小野の各地区から成っており、横堀、小野地区は比較的平野部が多く、商業地や住宅地のほか行政・文化施設などが集積し、周辺には水田地帯が広がっています。院内地区は縄文時代の岩井堂洞窟や、日本三大銀山の一つである院内銀山などの史跡があります。また、秋ノ宮地区は県内最古の温泉である秋の宮温泉郷を擁し、その泉質と周囲の景観から人びとの安らぎの空間を創り出しています。

雄勝地域に共通の歴史的財産としては、小野小町にまつわる伝説が多くあります。そのため、点在する歴史的財産や人びとの安らぎの空間を整備し、地域の活性化へと結び付けていく必要があります。

2 雄勝地域の現況と課題

雄勝地域は、国道13号と108号が交差する交通の要衝を占めています。通年利用が可能となった国道108号、平成19年に供用開始となる高規格幹線道路「湯沢横手道路」の雄勝こまちIC、さらには東北中央自動車道の整備などにより、雄勝地域の交通ネットワークは大きな変化を迎えつつあります。

一方、高齢者人口の増加や若年人口の流出、出生率の低下などにより、地域の活力が削られる要因もあります。

このような中で、雄勝地域の歴史的財産と安らぎの空間を「交通ネットワーク」と「歴史的財産のネットワーク」の相互リンクにより、秋の宮温泉郷を中心とした滞在型観光需要の掘り起こしや、道の駅周辺を核とした交流人口の増加に結びつけ、農林産物・特産品の需要喚起へと推し進めていく必要があります。

雄勝地域は、山形、宮城方面との出入り口となっていることから、来訪者の第一印象が極めて重要です。来訪者を単なる通過者としてではなく、リピーターへと押し上げ、さらに地域活性化と地域産業の振興へと昇華していく必要があります。

3 雄勝地域のまちづくりイメージ

小野小町をキーワードとして、地域内に点在する歴史的財産のネットワーク構築とこれを活用した地域活性化を図ります。

また、地域内の横堀、院内、秋ノ宮、小野の各地区と湯沢地域、稲川地域、皆瀬地域、さらには山形県、宮城県とのアクセスを向上させる交通ネットワークの構築にも取り組むことにより、交流人口の増加を図り、周遊型・滞在型の観光需要へと押し上げます。

交流人口の増加や滞在型の観光需要は、地域内の活性化や地域産業の振興へと結び付け、高齢者人口の増加や若年人口の流出、出生率の低下に見られる地域活力の衰退感の払拭^{トク}を図ります。



このため雄勝地域では、歴史的財産のネットワークと交通ネットワークの核となる道の駅周辺の整備、充実を図ることとし、これらを連携させながら地場産業振興による地域住民の所得向上と観光資源の整備を進めます。



4 雄勝地域のまちづくり方針

(1) 道の駅おがち「小町の郷」を核とした産業振興施策の推進

平成19年の秋田わか杉国体に合わせ、湯沢横手道路の雄勝こまちICが開通し、隣接する道の駅おがち「小町の郷」はさらなる利用客の増加が期待されている一方、冬期間の誘客や年間を通した利用客の増加が課題となっています。

このため、優れた地場産品を活用した新たな加工食品の開発と観光資源を有機的に結びつけ、道の駅とその周辺域の付加価値を高めることで、利用客の安定的な確保による地域全体の産業振興と地域住民の所得向上を促進します。

(2) 地域資源を生かした観光振興

雄勝地域は、秋の宮温泉郷や湯ノ沢温泉などを擁し、また、院内銀山跡、岩井堂洞窟などの貴重な文化財、さらには全国的に知名度の高い小野小町にまつわる伝説など歴史的な資源が豊富です。

このため、これらの資源を最大限に活用するとともに秋田県の南の玄関口としての機能を高めながら滞在型、周遊型の観光振興を図ります。

5 雄勝地域の重点施策事業

重点施策事業名	事業内容
(1) 道の駅おがち「小町の郷」整備事業	① ニツ森周辺から小町堂までの遊歩道を整備し、来訪者が平安時代の雰囲気になれる環境づくりを行います。
	② ニツ森周辺に広場、シンボル像等を整備し、イベント等での活用によりにぎわいを創出します。
	③ 直売所の整備により、意欲ある商業者を支援するとともに、誘客によるにぎわいの創出を図ります。
(2) 農産物加工センター整備事業	① 旧雄勝農産物流通センターをリニューアルし、地場の農産物等を使った加工食品の製造販売により、農家所得の向上と地場産業の振興を図ります。
(3) 院内地区史跡環境整備事業	① 院内銀山、岩井堂洞窟、院内関所跡などの史跡案内板や由来看板を整備し、観光誘客の促進を図ります。
(4) 院内にぎわいゾーン整備事業	① 市道院内支所横線の道路改良により、院内児童館、ほっと館への通行を容易にするとともに、小公園の整備により居住環境の改善を図ります。



第4節 皆瀬地域

1 皆瀬地域の特徴

皆瀬地域は、市の中心市街地から南東に約20km、栗駒国定公園の西の麓に位置し、地域面積の9割以上を占める広大な山林原野、地域の中央を南北に貫流する皆瀬川やそこに注ぐ大小河川、池沼群など緑と水に包まれています。

この雄大な自然は、生命の源である水を蓄えてくれるほか、動植物が四季折々に変える鮮やかな表情、森や水の声などにより人びとを楽しませてくれるとともに、山菜や溪流魚など豊富で多彩な恵みを与えてくれるなど、国土保全のほか、現代社会が求める潤いや安らぎに満ちた環境を保持しています。

特に、小安峡温泉は、皆瀬川の急流が長年にわたり兩岸を深く浸食しV字型に切り立つ60mもの河岸を形成した壮大な「小安峡」、渓谷の底の岩盤の間から大地を揺るがすような迫力のある音とともに熱気と蒸気が激しく噴き上がる「小安峡大噴湯」、温泉街に隣接し森林浴やアウトドアを気軽に楽しめる「女滝沢ブナ林」や「とことん山」などを有し、県内外の観光客にその魅力を提供しています。

また、渓谷探求や溪流釣りなど大自然を満喫できる奥小安峡、皆瀬ダムやダムの流入河川に架かる宇宙大橋や銀河大橋などのさまざまな橋、希少な動植物をはぐくむ貝沼や桁倉沼などの観光資源や、地熱エネルギーを利用した低温殺菌処理牛乳や水耕みつば、切り干し大根などの特産品を有しています。

2 皆瀬地域の現況と課題

皆瀬地域は、稲作中心の農林業と小安峡温泉を核にした観光業が基幹産業であり、ともに地域の自然資源を活用し発展してきましたが、景気の低迷をはじめ、農林産物の価格の低下や米の生産調整、観光スタイルの変化による滞在客数の減少などにより、それぞれの従業者数の減少や山林や農地の荒廃が危惧されています。

これらのことは、全国的な傾向ではあるものの、全国の中には継続し発展している事例もあり、皆瀬地域では、消費者が求める要求に対応できていなかったこと、地域の持つ魅力を十分に理解していなかったこと、地域が一体となった取り組みができなかったことなどが地域活力の低下の要因としてあげられます。

このため、長年にわたり築かれてきた地域の連帯感の向上を図りながら、地域に参画する市民、企業、団体が一体となり、地域資源の魅力をじゅうぶんに理解するとともに、創意工夫により資源を生かした産業振興に取り組んでいくことが必要です。

また、中心市街地から距離が離れていることなど地理的に不利な条件を解消し、通勤や通学、通院など日常生活の安心感を保つことが求められています。

3 皆瀬地域のまちづくりイメージ

将来にわたり自然と調和した穏やかな暮らしを営むため、地域全体が協力し地域資源を保全するとともにその魅力の向上に努めます。

このことにより、住民の地域への愛着を一層深め、地域内外との交流の活発化や定住化を促進し、産業の振興を図ります。

このため、豊かな自然と共生する美しい皆瀬を目指した地域づくりを進めます。

4 皆瀬地域のまちづくり方針

(1) 豊かな自然環境の保全

自然環境をたいせつにする意識を高めるとともに、森林空間に入る際の環境保護対策や生活排水の適正処理を進め、豊かな森林や清流などの良好な自然環境を次世代に引き継いでいきます。

(2) 美しい生活環境の整備

地域が一体となって、クリーンアップや美化活動、環境にやさしい暮らしを積極的に推進し、美しい生活環境の維持に努めます。

(3) 地域資源を生かした産業振興

地域の特性を生かした農林産物の生産活動を進め、ブランド化による積極的な販売戦略の展開で、所得向上を目指すとともに、森林や水辺空間のほか、山菜やキノコ、溪流魚など自然を存分に活用し、訪れる人びとにゆっくりと滞在してもらうことで、観光業を中心とした産業の振興を図ります。

(4) 犯罪や災害のない地域づくり

長年にわたりはぐくまれてきた地域の連帯感を防犯や防災の取り組みに生かすことのほか、犯罪抑制機能を高めるとともに、防災行政無線による情報伝達体系の強化などにより、災害などの被害の未然防止や軽減を図ります。

(5) 健康で住みよい地域づくりの推進

運動や食生活の改善による健康づくりをはじめ、地域の集いや助け合いによる心のつながり、高齢者が楽しく働くことができる環境づくりなどのほか、確かな医療サービスを迅速に受けられる仕組みを確立することにより、生涯にわたって生き生きと安心して暮らすことができる地域づくりを推進します。



5 皆瀬地域の重点施策事業

重点施策事業名	事業内容
(1) 小安峡・奥小安リゾートエリア 構築事業	① 女滝沢などの自然環境を保全するための拠点施設を整備します(公衆トイレ、案内人拠点)。
	② 温泉給湯等確保のための引湯施設を整備します。
	③ コミュニティ拠点機能を備えた総合案内所を整備します。
	④ 温泉街の街並み景観構想を策定し、構想に沿って温泉情緒溢れる雰囲気作りや景観形成、滞在拠点を整備します(露天風呂整備、大噴湯エレベーター)。
(2) 皆瀬診療所機能向上	① 皆瀬診療所の整備運営に関する基本計画を策定し、基本計画に基づき機能向上を図ります。

